

平成30年3月29日

## 原料費調整制度に基づく平成30年5月検針分のガス料金について

### (群馬南地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成30年5月検針分の単位料金を、平成30年4月検針分に比べ1m<sup>3</sup>(45MJ)につき0.59円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成29年12月～平成30年2月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に34m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成30年4月検針分と比較して、20円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成30年5月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1か月の ご使用量	料金表A 0～22m <sup>3</sup>	料金表B 23～223m <sup>3</sup>	料金表C 224m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	745.20	907.20	2,527.20
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	117.79	110.55	103.31
(参考) 4月 調整単位料金	117.20	109.96	102.72

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量 34m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	平成30年 4月	平成30年 5月	増減
適用料金(円/月)	4,645	4,665	20

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(平成24年度～平成28年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成29年11月～平成30年1月 の平均 (4月 検針分)	平成29年12月～平成30年2月 の平均 (5月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	23,810	24,500	690
LNG	48,210	49,830	1,620
LPG	68,300	67,530	▲ 770
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲ 3,500	▲ 2,800	700

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

#### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 49,830 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 67,530 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 24,500.32$$

↓(10円未満四捨五入)

$$24,500 \text{ 円/t}$$

#### ■ 原料価格変動額の算定

$$24,500 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = \begin{matrix} \text{▲ 2,850} \\ \text{↓(100円未満切捨て)} \\ \text{▲ 2,800} \end{matrix} \text{ 円/t}$$

#### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \begin{matrix} \text{▲ 2,800} \\ \text{円} \end{matrix} / 100 \text{円} \times 0.08424^{*1} \\ &= \begin{matrix} \text{▲ 2.36} \\ \text{円}^{*2} \end{matrix} \end{aligned}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.08424(0.078×1.08)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は小数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位以下を切り上げます。

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	平成30年 4月	平成30年 5月	増減
適用料金(円/月)	4,645	4,665	20

#### \* 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

本体料金(税込み)=基本料金(907.20円)

+ 調整単位料金(112.91円)

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

+ ▲ 2.36 (円) × 34m<sup>3</sup>

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

#### [参考]

##### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。